

## 令和5年度 第5回 豊田市足助地域会議 議事録

開催日時	令和5年8月21日（月）	開会	閉会
		18時30分	20時00分
会場	足助支所 2階 第2、3会議室		
出席者	委員11名出席		
	足助支所 支所長 青木、副主幹 深田、担当長 鶴井、主査 花園		
欠席者	6名		
傍聴者	0名		
内容	1 開会 ・市民の誓い唱和 ・会長あいさつ 2 報告事項 ・各分科会について ・地域会議への諮問について ・わくわく事業2次募集について 3 連絡事項 次回の会議等について確認		

### ■ 議事（要約）

#### 2 報告事項

（1）各分科会について 分科会代表より説明

【まるふく会議（高齢者等課題検討分科会）】

- ・足助地区健康づくり計画（令和3～7年度）について地域保健課より説明を受けた。

この計画は令和2年度にまるふく会議の前身の高齢者課題等情報交換会と地域保健課で共同作成した。計画、実行、評価、改善を繰り返しながら足助地区の様々な団体等の健康づくり事業の取組状況等をまるふく会議で確認する。

（委員の意見として）

内容・実績調査だけでなくそれぞれの団体の課題や意向などを聞き取っていくようにして評価、改善を行うよう地域保健課へ依頼した。

【新規課題事業検討分科会】

- ・陣屋跡地利活用のワークショップの日程等が決定した。

日 程：1回目 8/20（日）、2回目 9/11（月）、3回目 9/30（土）

メンバー：足助まちづくり推進協議会部会長等、地域会議（新規課題事業検討分科会）  
足助のまちなかの人（一般公募、2・3回目）

目 的：①陣屋跡地のアイデンティティの共有（魅力、みんなにとっての意義など）  
②整備イメージの共有（完成イメージでなく、みんなで作っていくためのたたき台）  
③活用に必要な設備や物品のイメージを具現化する。

成 果 物：①キーワードの言語化（具体化）

②イメージの作成（親しみやすいイラスト）

## 【防災課題検討分科会】

- ・事業コーディネート業務委託スケジュール（予定）  
一般競争入札10月3日（火）、契約日10月12日（木）
- ・実施地区：御内自治会、桑田和自治会の2地区で実施する。

## （2）地域会議への諮問について 事務局より説明

### ・実施概要

令和5年9月25日（月）午後6時30分から（1時間程度） 第6回地域会議にて諮問  
市長あいさつ、第9次豊田市総合計画諮問の説明・質疑、意見交換等

### ・諮問内容

第9次豊田市総合計画において、本市のまちづくりの方向性を示す「（仮称）ミライ構想」  
「めざす姿」「まちづくりの基本的な考え方」「都市構造」について意見を求める。

### ・答申日

令和5年12月18日（月）午後6時30分から 第9回地域会議にて答申（市長出席）

- 地域会議委員として、諮問資料「第9次豊田市総合計画の方向性について（案）」を読み、  
諮問内容を正しく理解する。
- 諮問内容に関する疑問点、不明点を共有する。

## 【委員等の諮問内容を読んだ後の疑問点不明点】

### （第9次豊田市総合計画の方向性全体について）

- ・一般市民に諮問をしているのだから誰が読んでも、わかりやすく書いてほしい。
- ・ウェルビーイング等の言葉の意味、図の表現方法も分かりにくい。
- ・そもそも、第9次豊田市総合計画は何年から何年の計画なのか？ミライ実現戦略2030とあるし、8期計画は前期4年、後期4年の8年計画だと思うが、9期はよくわからない。
- ・総合計画はどこを見据えているのか？（前期、後期あるのか？）

### （序論）

- ・「常に施策の見直しを前提とする」とあるが、見直しには一般市民は参加できるのか？  
どうやって見直しをやっていくのか？その方法は？
- ・「常に施策の見直しを前提とする」とあるが、総合計画全体を見直すということか？  
ミライ実現戦略を見直すということか？

- ・「圏域をリードする」の「圏域」とはどこを現しているのか？（愛知県？西三河？）  
（豊田市を取り巻く環境）

- ・「持続可能な都市経営の必要性」として既存の課題なら、山間地域の集落維持、山林維持なども挙げるべきでは。

### （ミライ実現戦略2030の方向性）

- ・5年間の戦略になると思うが、どこがどういう戦略なのかまったくわからない。
- ・「経済、都市基盤、環境」とあるが山村地域では人口減による担い手不足の中で山村地域の

基盤、あり方についてどのような方向性で描かれるのか？

(都市構造) (都市構造のイメージ)

- ・デジタルトランスフォーメーションが本当に良いのか？高齢者や使えない人たちへの配慮は？
  - ・「生活拠点」の「山村地域の暮らしに必要な都市・生活機能」とはどんなイメージか。
  - ・「えきちか居住誘導エリア」の構想を見る限り、山村の居住対策（空き家も含む）に対して方向性が見えない。
  - ・令和4年1月に施行された「山村条例」の目的や意義、理念などは、この総合計画のどこに反映されているのか？
  - ・豊田市ならではの特徴（都市と山村ある）を活かしているのか？など
- 諮問時の質疑応答、意見交換会で疑問点や意見として確認していくこととする。

### (3) わくわく事業2次募集について 事務局より説明

	団体名	事業名	回数	申請金額
1	山の音を観る会	観音山整備事業	1	496,000円

審査会日程等

- ・日程：令和5年8月22日（火）午後6時30分から
- ・審査員：地域審査員（わくわく事業申請団体会員10人）、足助支所審査員（3人）
- ・審査方法：ヒアリング審査
- ・審査後に2次募集团体を含め意見交換会を行う

## 3 連絡事項

次回の会議等について確認

- ・第4回まるふく会議（高齢者課題検討分科会）  
令和5年8月28日（月） 午前10時～ 足助支所
- ・第4回新規事業検討分科会  
令和5年8月28日（月） 午後6時30分～ 足助支所
- ・あすけ通信編集会議  
令和5年9月19日（火） 午後6時～ 足助支所
- ・第6回足助地域会議（諮問）  
令和5年9月25日（月） 午後6時30分～ 足助支所